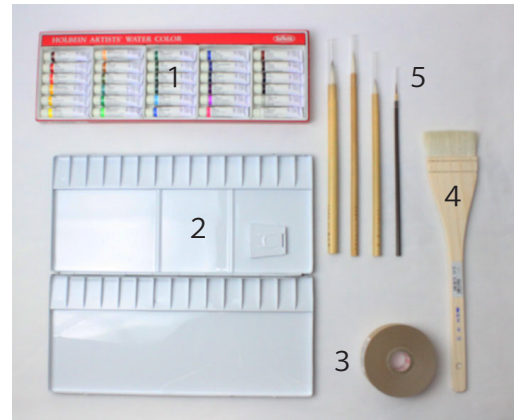


日本画用着彩の道具

熊谷美術研究所クマビ

1. ホルベイン透明水彩30色
2. 水彩アルミパレット30仕切り
3. 水張りテープ25mm×45m
4. 水張り用の刷毛20号
5. 筆



1. 「ホルベイン透明水彩30色」水彩絵の具のメーカーはホルベイン/クサカベ/ウィンザー&ニュートン、バンゴッホ等があり、中でもホルベインは比較的安価で受験生の中で最もよく使われています。慣れるまではホルベインを利用してください。慣れたら色々なメーカーを試しましょう。

2. 「水彩アルミパレット30仕切り」日本画で使うパレットは写真のアルミパレットかホーロー製の物を使います。主にホーロー製を使いますがアルミの方が安価のため初心者はアルミ製の物でも構いません。慣れてくれば30仕切りのパレット1枚では足りないためもう一枚購入して2枚使うことが一般的です。使う前に仕切りの中に一色ずつ絵の具を流し込んで2週間程度乾燥させます。絵を描くときは乾燥した絵の具の上に綺麗な水を落として溶かしながら描きます。

3. 「水張りテープ25mm×45m」着彩をする時は紙をパネルや合板に張り付ける水張りを行います。水張りの際に使うのが水張りテープです。水張りテープは接着面が切手のように水で湿らせると糊が解ける仕組みになっています。

4. 「水張り用の刷毛20号」水張りを行う時に使う刷毛です。水張りの際は紙を伸ばすために紙の裏面を水張り用の刷毛で湿らせます。その際に刷毛が小さすぎると作業が難しくなるので適当な大きさの物を選びます。

5. 「筆」日本画で使う筆には色々な種類があります。色々な種類の中から初心者にお勧めするのはコレです。
狼狸面相 小・・・細かい所を描きやすく、細い線が引けます。
天然即妙 別中・・・細かい所と中くらいの所も描ける筆です。
削用筆 中・・・毛先がきくため即妙よりもシャープな線が引けます。
彩色筆・・・たっぷり絵の具を含ませることができます。厚塗りができます。

6. 「その他」着彩には合板かパネルが必要です。合板とパネルの大きさは大学によって違います。筆を洗う際の大きなバケツ/道具箱/筆巻き/雑巾/ボックスティッシュ/クロッキー帖/5円玉に40センチ程度の糸を結んだものも用意してください。

参考価格(2017年3月調べ)

ホルベイン透明水彩30色 6,696円
クリエイト水彩アルミパレットAP-2000(30仕切) 2,469円
水張りテープ25mm×45m 189円
水張り用の刷毛/ナムラ刷毛B印絵刷毛20号 1,188円
ベニア(FSC普通合板)60×90mm厚み5.5mm 1,780円
狼狸面相 小 874円
天然即妙 別中 2,592円
削用筆 中 1本 2,916円
彩色筆 7番 1,944円
平筆 6番 1,944円
合計22,283円